

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2015年6月8日から2025年6月6日まで	
運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	シュローダー・ユーロ株式マザーファンド(ユーロ)受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	・ルクセンブルグ籍ユーロ建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・エクイティ クラスⅠ投資証券」 ・ルクセンブルグ籍ユーロ建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・リクイディティ クラスⅠ投資証券」 ・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ クラスⅠ投資証券」 上記の指定投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	当ファンドのマザーファンド組入上限比率	制限を設けません。
	マザーファンド	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時(毎年6月10日および12月10日。ただし当該日が休業日の場合は翌営業日)に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額水準、市況動向等を勘案しながら決定します。 なお、分配を行わない場合があります。	

シュローダー・ユーロ株式ファンド 為替リスク軽減型

第15期 運用報告書(全体版)

(決算日 2022年12月12日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、「シュローダー・ユーロ株式ファンド 為替リスク軽減型」は、2022年12月12日に第15期の決算を行いました。
ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館21階
<http://www.schroders.co.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日は除く)

Schroders
シュローダー・インベストメント・マネジメント

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			投資信託証券組入比率	純資産額	
		税分	込配	み金 期騰落			中率
	円		円		%	百万円	
11期(2020年12月10日)	10,286		210		8.0	101.6	425
12期(2021年6月10日)	11,170		870		17.1	99.8	370
13期(2021年12月10日)	11,481		150		4.1	97.4	368
14期(2022年6月10日)	10,779		0		△ 6.1	102.1	339
15期(2022年12月12日)	10,157		0		△ 5.8	96.7	316

(注) 基準価額、税込み分配金は1万円当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、投資信託証券組入比率は実質組入比率で表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	基準価額		投資信託証券組入比率
		騰	落率	
(期首) 2022年6月10日	円 10,779		% -	% 102.1
6月末	9,895		△ 8.2	100.4
7月末	10,003		△ 7.2	96.9
8月末	10,073		△ 6.5	99.6
9月末	9,042		△ 16.1	98.3
10月末	9,455		△ 12.3	100.1
11月末	10,160		△ 5.7	97.7
(期末) 2022年12月12日	10,157		△ 5.8	96.7

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

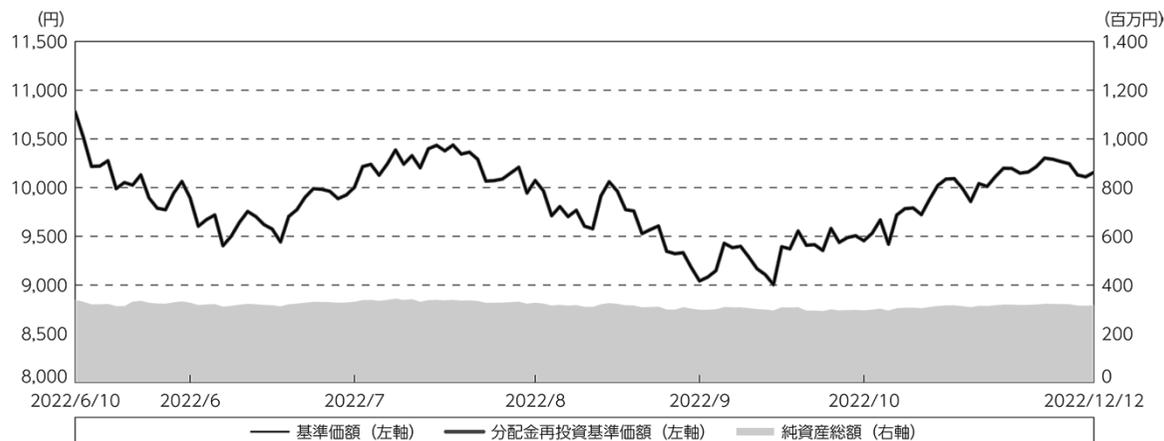
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、投資信託証券組入比率は実質組入比率で表示しております。

(注) 当ファンドは、ベンチマークおよび参考指数は設定していません。

○運用経過

(2022年6月11日～2022年12月12日)

期中の基準価額等の推移



期首：10,779円

期末：10,157円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 5.8% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年6月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首10,779円でスタートした基準価額は、10,157円(分配後)で期末を迎え、期首比5.8%(分配金再投資ベース)の下落となりました。

当ファンドの基準価額のリターンについて、MSCI EMUインデックス(ユーロ・ベース)と比較した場合、セクター別では、素材や資本財・サービスの銘柄選択がプラス要因となった一方、コミュニケーション・サービスや情報技術の銘柄選択がマイナスの影響となりました。

銘柄別では、スイスの高級品小売りであるリシュモンの保有がプラス要因となりました。中国がゼロコロナ政策を緩和するとの兆しが見られたことや、同社の利益率およびキャッシュフローが堅調であること等が好材料となりました。一方、フランスのスーパーマーケット運営会社であるカルフルの保有がマイナスの影響となりました。株式市場で景気敏感な銘柄が投資家に選好される展開となる中、ディフェンシブ銘柄が選考の対象外となりました。生活必需品銘柄である当銘柄は、キャッシュフローの強固な予想を発表したにも関わらず、株価は軟調に推移しました。

投資環境

当期のユーロ株式市場は上昇しました。期初は下落して始まり、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が続く中、ロシアからのガス供給の継続性に対する懸念が高まったことが材料視されました。2022年7月は一転、上昇しました。金利の上昇予想が緩和したことや、一部の大手ハイテク企業やエネルギー企業の利益回復が好材料となりました。8月は下落しました。インフレ率は依然高い水準にあり、米連邦準備制度理事会（FRB）がインフレの抑制を優先する方針を改めて表明したことが材料視されました。9月は、高インフレと金利上昇に対する懸念が高まり、企業と消費者に圧力がかかる中、下落傾向が続きました。欧州中央銀行（ECB）は9月も利上げを決定しました。10月は一転、上昇しました。ECBは政策金利をさらに0.75%引き上げ、ユーロ圏経済が景気後退に向かう可能性があることを認めました。市場はこの発言を利上げのペースが間もなく緩和される可能性を示すものと受け止め、株価の支援材料となりました。10月に欧州委員会は、エネルギー価格の上限設定やガスの共同購入等の措置を導入するための新たな規制を提案しました。輸入の増加や、温暖な気候、また省エネ対策により、貯蔵施設の容量は限界に近づいており、ガス不足の懸念が緩和されました。11月は上昇しました。インフレがピーク・アウトするとの期待や、企業の7-9月期の良好な決算、また中国が厳しいゼロコロナ政策を一部緩和するとの兆し等がプラス要因となりました。特に中国のゼロコロナ政策の緩和の兆しは、高級品セクターの回復に支援材料となりました。12月はFRBが利上げを継続する姿勢を示したことを受け、利上げが景気後退につながるとの懸念が強まったこと等を背景に上値の重い展開となる中、期末を終えました。

当ファンドのポートフォリオ

シュローダー・ユーロ株式マザーファンド（ユーロ）において、投資比率が高位であるシュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・エクイティ クラスIの運用について

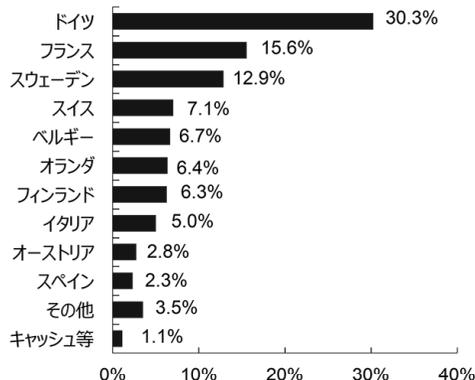
当期、ポートフォリオ構成の一部変更を実施しました。

セクター別では、生活必需品や一般消費財・サービスに対して強気の見方とし、保有比率を引き上げました。一方、ヘルスケアやコミュニケーション・サービスに対して弱気の見方とし、保有比率を引き下げました。

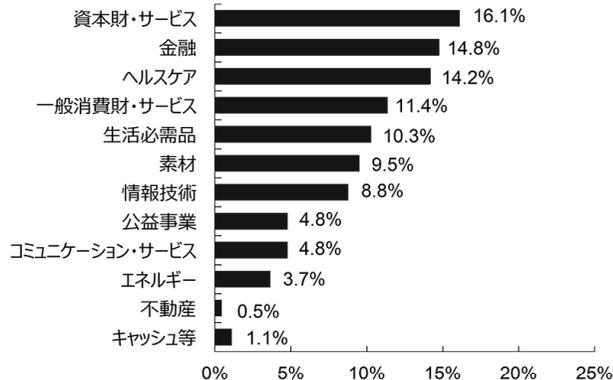
銘柄別では、フランスの決済処理プラットフォーム運営会社であるワールドラインに新規投資を行いました。同社がインジェニコを買収した際に、市場は買収額とインジェニコの旧型の技術に疑問を持ったことから、株価が下落しました。しかしながら、ワールドラインがインジェニコの端末事業部門を売却することにより、投資家の懸念はある程度解消されました。ワールドラインは市場シェアを拡大し続け、同社のネットワークへの新規加入店を増やしている点を評価しました。一方、オランダの通信サービスプロバイダーであるKPNを全売却しました。当銘柄は、ディフェンシブ性を有するバリュー株であり、足元まで株価は堅調に推移し配当についても高水準となっていました。資金を他のグロース銘柄の購入に振り向ける入れ替えを進めました。

作成基準日：2022年11月30日

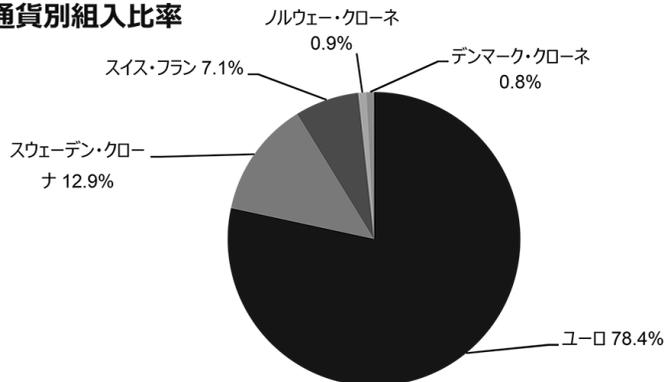
■ 国別組入比率



■ 業種別組入比率



■ 通貨別組入比率



(注) 業種は、GICS（世界産業分類基準）の分類、国・地域別は、原則として当該株式が主に取引されている取引所の所在国に基づき、主要投資対象ファンドの投資運用会社が作成した分類により表記しております。なお、組入比率は、主要投資対象ファンドにおける組入比率です。

(注) 組入比率は、四捨五入して表示しているため合計が100%にならないことがあります。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第15期
	2022年6月11日～ 2022年12月12日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,034

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

ユーロ株式市場は2022年10月から11月にかけて非常に堅調に推移しました。これは、金利がピークアウトするとの見方を織り込んだことが要因の一つです。また、それ以前は多くの投資家が欧州地域を敬遠し、相対的に保有が少なくなっていたことも反発の要因であると考えています。

ユーロ圏企業の2022年7-9月期の決算は総じて回復し、良好な内容となりました。サプライチェーンの圧力は最悪期を脱し、エネルギー・コストについても緩和される兆しがあります。これは2023年度の企業利益を下支えすると予想されます。インフレ率が上昇する中で消費者需要がどの程度維持されるかは重要な問題ですが、労働市場は相対的に堅調に推移しています。この冬は温暖な気候とLNGの輸入により、エネルギー配給のリスクが低下しています。ガス価格はピーク時から大幅に下落しました。2022年の冬の天候に大きく左右されるものの、ガス価格の下落は政府、企業、消費者にとって一定の安心材料となっています。一方で、マクロリスクは依然として高く、特にウクライナにおけるロシアの動向については注視しています。

こうした環境下、当ポートフォリオでは引き続き銘柄固有リスクを重視し、スタイルやファクターにかかわらず成長要因を有し、株価が割安な水準にある銘柄を追求していきます。景気循環に連動する銘柄とディフェンシブ性を有する銘柄とのバランス、またグロース銘柄とバリュー銘柄とのバランスを維持した構成とする方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 6 月 11 日～2022年12月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	83	0.850	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(41)	(0.418)	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表 ・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等 ・運用報告書等各種書類の交付 ・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等
（ 販 売 会 社 ）	(41)	(0.418)	
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.014)	
(b) そ の 他 費 用	6	0.059	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.002)	<ul style="list-style-type: none"> ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用 ・その他は、金銭信託手数料等
（ 監 査 費 用 ）	(2)	(0.019)	
（ 印 刷 費 用 ）	(4)	(0.036)	
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	
合 計	89	0.909	
期中の平均基準価額は、9,771円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

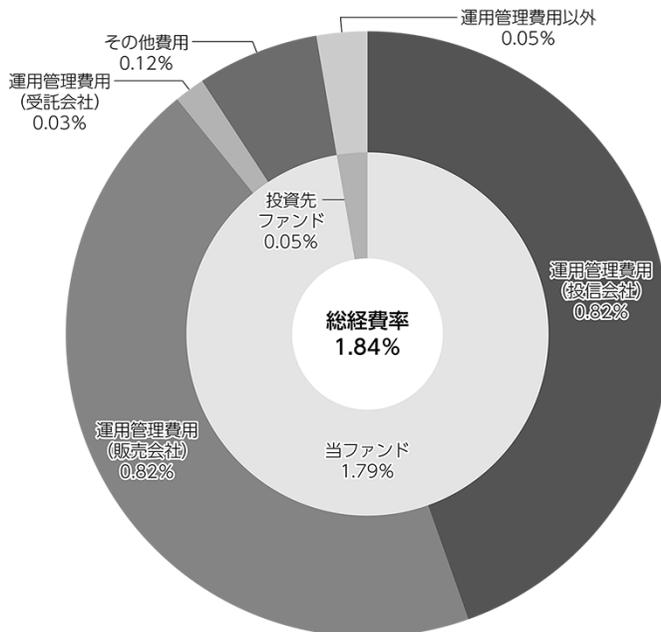
(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.84
①当ファンドの費用の比率	1.79
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	—
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用については、投資先ファンドの管理会社が発行する年次報告書（アニュアル・レポート）の記載に基づきます。なお、投資先ファンドの運用管理費用（信託報酬）は当ファンドの運用管理費用（投信会社分）から支払われるため、別に収受しておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年6月11日～2022年12月12日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
シュローダー・ユーロ株式マザーファンド (ユーロ)	千口 28,166	千円 38,781	千口 48,558	千円 66,656

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年6月11日～2022年12月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年12月12日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
シュローダー・ユーロ株式マザーファンド (ユーロ)	千口 236,044	千口 215,652	千円 315,974

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年12月12日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
シュローダー・ユーロ株式マザーファンド (ユーロ)	千円 315,974	% 98.3
コール・ローン等、その他	5,411	1.7
投資信託財産総額	321,385	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) シュローダー・ユーロ株式マザーファンド (ユーロ) において、当期末における外貨建純資産 (1,126,512千円) の投資信託財産総額 (1,164,230千円) に対する比率は96.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1ユーロ=143.76円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年12月12日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	628,632,512
シュローダー・ユーロ株式マザーファンド(ユーロ) (評価額)	315,974,585
未収入金	312,657,927
(B) 負債	312,017,525
未払金	307,246,666
未払解約金	1,893,557
未払信託報酬	2,700,348
その他未払費用	176,954
(C) 純資産総額(A - B)	316,614,987
元本	311,728,568
次期繰越損益金	4,886,419
(D) 受益権総口数	311,728,568口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,157円

[元本増減]

期首元本額	314,864,246円
期中追加設定元本額	30,129,702円
期中一部解約元本額	33,265,380円

○損益の状況 (2022年6月11日～2022年12月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△13,764,995
売買益	40,833,885
売買損	△54,598,880
(B) 信託報酬等	△2,877,302
(C) 当期損益金(A + B)	△16,642,297
(D) 前期繰越損益金	8,543,551
(E) 追加信託差損益金	12,985,165
(配当等相当額)	(4,900,949)
(売買損益相当額)	(8,084,216)
(F) 計(C + D + E)	4,886,419
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F + G)	4,886,419
追加信託差損益金	12,985,165
(配当等相当額)	(4,900,920)
(売買損益相当額)	(8,084,245)
分配準備積立金	27,343,654
繰越損益金	△35,442,400

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(4,900,920円)および分配準備積立金(27,343,654円)より分配対象収益は32,244,574円(10,000口当たり1,034円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

<分配金について>

- ・収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本(受益者のファンドの購入価額)と同額または上回る場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)、残りの額は普通分配金となります。
- ・分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2022年12月12日現在）

<シュローダー・ユーロ株式マザーファンド（ユーロ）>

下記は、シュローダー・ユーロ株式マザーファンド（ユーロ）全体（793,304千口）の内容です。

外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(ユーロ…ルクセンブルグ)	口	口	千ユーロ	千円	%	
シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・エキティ クラスI	139,562	127,716	7,835	1,126,497	96.9	
シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・リクイディティクラスI	0.77	0.77	0.097	14	0.0	
合 計	口 数 ・ 金 額	139,563	127,717	7,836	1,126,512	
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	2	-	<96.9%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) < >内は、このファンドが組入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

〈シュローダー・ユーロ株式マザーファンド（ユーロ） 第7期〉

【計算期間 2021年6月11日から2022年6月10日まで】

信託期間	無期限
決算日	毎年6月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日
運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ルクセンブルグ籍ユーロ建て外国投資法人 「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・エクイティ クラスⅠ投資証券」 ・ルクセンブルグ籍ユーロ建て外国投資法人 「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・リクイディティ クラスⅠ投資証券」 ・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人 「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ クラスⅠ投資証券」 上記の指定投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数*		投資信託 組入比率	純資産額
	円	騰落率	騰落率	騰落率		
3期(2018年6月11日)	11,693	9.3	25,743.73	6.0	97.0	百万円 3,317
4期(2019年6月10日)	9,927	△15.1	23,907.26	△7.1	97.1	2,377
5期(2020年6月10日)	10,373	4.5	23,635.06	△1.1	97.2	2,135
6期(2021年6月10日)	14,506	39.8	32,986.80	39.6	91.1	1,694
7期(2022年6月10日)	15,188	4.7	32,682.85	△0.9	96.7	1,323

(注) 基準価額は1万円当たり。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数*		投資信託 組入比率
	円	騰落率	騰落率	騰落率	
(期首) 2021年6月10日	14,506	—	32,986.80	—	91.1
6月末	14,285	△1.5	32,638.63	△1.1	98.4
7月末	14,418	△0.6	32,585.97	△1.2	98.0
8月末	14,727	1.5	33,131.22	0.4	98.0
9月末	14,281	△1.6	32,170.96	△2.5	98.4
10月末	15,143	4.4	34,047.10	3.2	98.3
11月末	14,445	△0.4	32,166.29	△2.5	98.6
12月末	14,952	3.1	33,931.77	2.9	98.7
2022年1月末	13,910	△4.1	32,022.91	△2.9	98.1
2月末	13,667	△5.8	31,045.02	△5.9	98.3
3月末	14,805	2.1	32,740.22	△0.7	98.7
4月末	14,258	△1.7	31,005.75	△6.0	98.0
5月末	14,910	2.8	32,538.44	△1.4	98.0
(期末) 2022年6月10日	15,188	4.7	32,682.85	△0.9	96.7

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 騰落率は期首比。

※当ファンドは、ベンチマークを設けておりません。

参考指数といたしまして、MSCI EMUインデックス*（ネットリターン）を委託会社が独自に円換算し、記載しております。

*MSCI EMUインデックスは、MSCI Inc. が算出・公表する、欧州経済通貨同盟（European Economic and Monetary Union）に属する先進国の株式を対象とした株価指数です。

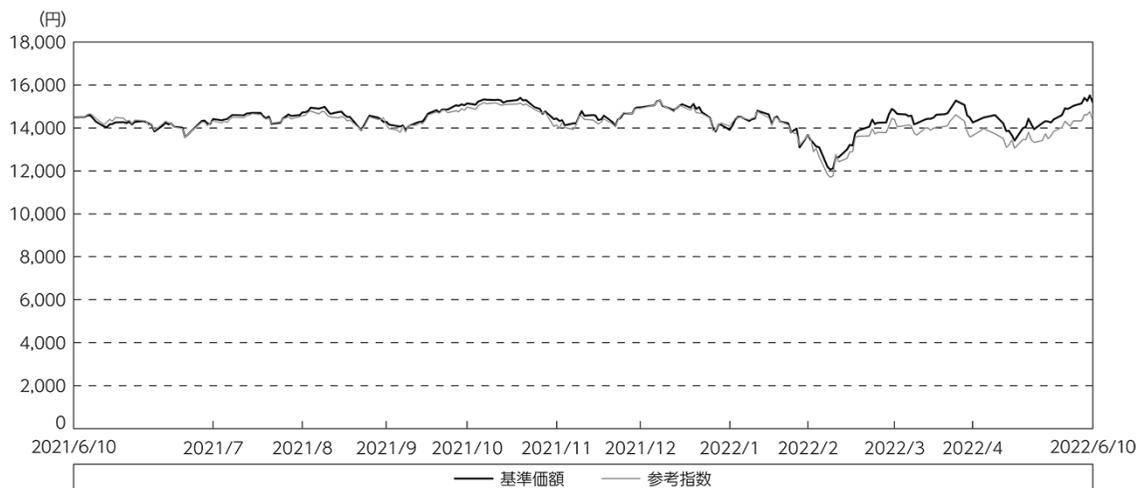
当指数に関する著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc. に帰属しております。MSCI Inc. が指数構成銘柄への投資を推奨するものではなく、MSCI Inc. は当指数の利用に伴う如何なる責任も負いません。

MSCI Inc. は情報の確実性および完結性を保証するものではなく、MSCI Inc. の許諾なしにデータを複製・頒布・使用等することは禁じられております。

○運用経過

(2021年6月11日～2022年6月10日)

期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、期首（2021年6月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 当ファンドの参考指数は、MSCI EMUインデックス（ネットリターン）（円換算）です。

○基準価額の主な変動要因

期首14,506円でスタートした基準価額は、15,188円で期末を迎え、期首比4.7%の上昇となりました。一方、参考指数であるMSCI EMUインデックス（ネットリターン）（円換算）は、0.9%の下落で、当ファンドは、参考指数を5.6%上回りました。

当ファンドは前期末比でマイナスのリターンとなりました（ユーロ・ベース）。

MSCI EMUインデックス（ユーロ・ベース）と比較した場合、セクター別では、ヘルスケアと一般消費財・サービスの銘柄選択がプラス効果となった一方、エネルギーやコミュニケーション・サービスの銘柄選択がマイナスの影響となりました。銘柄別では、ドイツの医薬品や農薬のメーカーであるバイエル保有がプラス効果となりました。同社製品の除草剤であるラウンドアップは、中国でのロックダウン（都市封鎖）の影響でジェネリック医薬品が不足する中、価格は依然堅調です。また、小麦、トウモロコシ、綿花の種子の需要が旺盛で、種子事業における価格決定に勢いがあります。ラウンドアップの訴訟で同社が上訴することを認めるかどうかについて、米国最高裁判所の決定を待ちたいと考えています。一方、オランダの半導体実装装置メーカーであるBEセミコンダクターの保有がマイナスの影響となりました。同社が中国における受注の伸びが減速したと発表したことが悪材料となりました。受注の減速は、最新のiPhoneの需要減やロックダウンによるサプライチェーンの混乱が要因である可能性があります。ただし当運用チームでは、同社の革新的な新製品を評価し、引き続き良好な見通しを持っています。

投資環境

当期のユーロ株式市場は、下落して終わりました。2021年6月は上昇したものの上値の重い展開となりました。主要通貨に対して米ドル高が進む中、長期間で成長が見込まれるグロース銘柄が市場で選好される傾向が強まりました。7月から8月にかけても上昇しました。新型コロナウイルスのパンデミック（世界的な流行）からの景気回復が継続し、2021年4-6月期の企業業績が好調な内容であったこと等が支援材料となりました。9月はバリュー銘柄が選好されるローテーションの動きがみられる中、下落しました。輸送費が上昇し半導体が不足する中でサプライチェーンに対する圧力が強まっていることに加え、欧州で電力価格が上昇していることが、投入原価の上昇への懸念を一段と強める要因となりました。10月は一転上昇しました。7-9月期の企業決算で欧州企業の半数以上が予想EPS（1株当たり純利益）を上回る結果となったことが好材料となりました。11月は下落しました。新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大への懸念が市場センチメントに重しとなりました。12月は、オミクロン株の感染が広がり、多くの国で規制を導入したため、一時上げ幅を縮小した局面もあったものの、上昇しました。2022年1月は下落しました。米国が利上げに踏み切るとの観測が高まったことや、ロシア・ウクライナ情勢が緊迫化したことが材料視され、債券利回りが急上昇し、株式投資家にとっては逃避先がほとんどない状況となりました。2月は下落しました。ロシアによるウクライナへの侵攻とその深刻な人道的影響により、世界中の人々が衝撃を受け、これが市場に伝わる展開となりました。3月から4月にかけて下落しました。世界の株式市場にとって、ウクライナ紛争の長期化、中国でのロックダウン、サプライチェーンの混乱の継続、米国の金利が急速に上昇すると観測などが悪材料となりました。5月は小幅に上昇して終わりましたが、上値の重い展開となりました。欧州委員会は、欧州連合（EU）とユーロ圏の2022年の実質域内総生産が共に前年比2.7%増になるとの予測を発表し、従来予想の4%増から下方修正しました。セクター別では、エネルギーが他のセクターを大幅に上回りました。6月は当期末にかけて下落して終わりました。（株式市場の騰落は、ユーロ・ベースで記載しております。）

当ファンドのポートフォリオ

当期、ポートフォリオ構成の一部変更を実施しました。

セクター別では、コミュニケーション・サービスや公益事業に対して強気の見方とし、保有比率を引き上げました。一方、資本財・サービスや情報技術に対して弱気の見方とし、保有比率を引き下げました。銘柄別では、ドイツの資材運搬機器メーカーであるKIONグループに新規投資を行いました。同社は倉庫の自動化やeコマース・ソリューション等のサービスを提供しています。フォークリフトの製造では市場のリーダーです。投入コストの上昇に直面しており、そのために同業の数社は予想利益を下方修正しました。しかしながら、長期的にはフルフィルメントセンター（通信販売受注商品の発送センター）に大規模な投資が行われており、これが続く予想しています。一方、英国のファンドの販売会社であるオールファンズを全売却しました。その他金融セクターのエクスポージャーを無くし、更に割安とみられる企業への投資を進める動きの一部です。同社の将来は、勢いが足元で明確に弱まっている市場全体の水準に部分的に連動していると判断しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマークは設けておりません。

○今後の運用方針

ユーロ株式市場はロシアによるウクライナへの侵攻、スタグフレーションの懸念、消費者物価の上昇などを背景に、先行きが非常に不透明な状況が続いています。しかしながら、金利の見通しについては、不確実性のピークを過ぎたと言えるかもしれません。ユーロ圏ではまだ始まっていないとしても、金利が上昇する必要があることについては理解が広がっています。

今こそトップダウンではなく、個別銘柄にフォーカスした投資判断を行うべきであると考えています。当ブレンド運用戦略では、市場のバリューとグロースの両銘柄群からベストアイデアを引き出します。バリュー株については、2022年は堅調に推移し、インフレ率の上昇が支援材料となっています。一方、グロース株については、一部の個別銘柄は株価が興味深い水準まで調整しています。

このような背景から、当運用チームでは特定の投資スタイルへの偏りを限定し、分散を図ったアプローチを維持し続けています。当ポートフォリオでは引き続き銘柄固有リスクを重視し、スタイルやファクターにかかわらず成長要因を有し、株価が割安な水準にある銘柄を追求していきます。景気循環に連動する銘柄とディフェンシブ性を有する銘柄とのバランス、またグロース銘柄とバリュー銘柄とのバランスを維持した構成とする方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2021年6月11日～2022年6月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.006)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	・その他は、グローバルな取引主体識別子（L E I : Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料等
合 計	1	0.007	
期中の平均基準価額は、14,483円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2021年6月11日～2022年6月10日）

投資信託証券

外 国	銘柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
	ユーロ	口	千ユーロ	口	千ユーロ
	ルクセンブルグ				
	シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・エクイティ クラスI	13,808	900	50,949	3,385

(注) 金額は受渡代金。
(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2021年6月11日～2022年6月10日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2022年6月10日現在）

外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末				
		口 数	口 数	評 価 額		比 率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ・ルクセンブルグ)	口	口	千ユーロ	千円	%	
シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・エクイティ クラスI	176,703	139,562	8,979	1,279,908	96.7	
シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・リクイディティクラスI	0.77	0.77	0.097	13	0.0	
合 計	口 数 ・ 金 額	176,703	139,563	8,979	1,279,922	
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	2	—	< 96.7% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) < >内は、純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

○投資信託財産の構成

（2022年6月10日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円	%
	1,279,922	96.6
コール・ローン等、その他	45,265	3.4
投資信託財産総額	1,325,187	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。
(注) 当期末における外貨建純資産（1,279,922千円）の投資信託財産総額（1,325,187千円）に対する比率は96.6%です。
(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1ユーロ=142.54円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年6月10日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,325,187,185
コール・ローン等	45,264,601
投資証券(評価額)	1,279,922,584
(B) 負債	1,201,810
未払解約金	1,201,147
未払利息	124
その他未払費用	539
(C) 純資産総額(A-B)	1,323,985,375
元本	871,725,148
次期繰越損益金	452,260,227
(D) 受益権総口数	871,725,148口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,188円

[元本増減]

期首元本額	1,167,835,747円
期中追加設定元本額	96,678,310円
期中一部解約元本額	392,788,909円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

シュローダー・ユーロ株式ファンド 為替リスク軽減型	236,044,633円
シュローダー・ユーロ株式ファンド 為替ヘッジなし	196,724,409円
シュローダー・ユーロ・エクイティ・ファンド 為替リスク軽減型	82,619,376円
シュローダー・ユーロ・エクイティ・ファンド 為替ヘッジなし	356,336,730円

○損益の状況（2021年6月11日～2022年6月10日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 24,925
支払利息	△ 24,925
(B) 有価証券売買損益	63,328,583
売買益	95,163,919
売買損	△ 31,835,336
(C) 保管費用等	△ 95,821
(D) 当期損益金(A+B+C)	63,207,837
(E) 前期繰越損益金	526,267,000
(F) 追加信託差損益金	41,672,355
(G) 解約差損益金	△178,886,965
(H) 計(D+E+F+G)	452,260,227
次期繰越損益金(H)	452,260,227

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<参考>マザーファンドが投資対象とする組入投資信託証券の内容

以下、当運用報告書作成期末時点でシュローダー・ユーロ株式マザーファンド（ユーロ）が保有している各投資信託証券の直前の計算期間の内容を開示いたします。

「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・エクイティ クラス I 投資証券」の運用状況

<ファンドの概要>

形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／ユーロ建て	
主な投資対象	ユーロ圏各国の企業が発行する株式など	
運用の基本方針および主な投資制限	<p>ユーロ圏の企業の株式及び株式関連証券に投資することによって、中長期的に費用控除後でMSCI EMUインデックス（税引後配当込み）を上回る運用資産の成長を目指します。</p> <p>※欧州委員会が制定した指令（UCITS指令）に準拠して分散投資を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ファンドはアクティブ運用され、欧州経済領域に籍のある企業の株式及び株式関連証券への投資割合は純資産の75%以上とします。 ■ ユーロを通貨として採用している国にある企業の株式及び株式関連証券への投資割合は純資産の2/3以上とします。 ■ ファンドは純資産の1/3以下の範囲で、直接または間接的に他の投資証券（他の資産クラスを含む）、国、地域、業種、通貨、投資ファンド、ワラント債、短期金融商品に投資し、現金を保有することがあります。 ■ 運用資産の価格下落リスクの抑制および資産の効率的な運用のため、デリバティブ取引を活用することがあります。 ■ 投資運用会社の評価方式に基づき、MSCI EMUインデックス（税引後配当込み）よりも総合して高いサステナビリティ・スコアを維持します。（投資プロセスは交付目論見書「追加的記載事項」に記載の「サステナビリティ基準」をご参照ください。） ■ ファンドは、www.schroders.com/en/lu/private-investor/gfcからアクセス可能なファンドの「サステナビリティ情報」に記載される範囲を超えて特定の活動、業種または発行体グループには直接投資しません。 	
投資運用報酬	ありません。	
管理報酬等	ファンドの純資産総額に対して年率0.05%程度（実績値）を管理報酬、保管報酬、弁護士費用、および監査費用等の精算にあてております。この料率は運用・管理状況等によって変動することがあります。	
決算日	12月31日	
設定日	2001年12月24日	
ファンドの関係法人	管理会社	シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイ
	投資運用会社	シュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッド
	保管会社	J. P. モルガン・エスイー、ルクセンブルグ支店

*保管会社は、2022年1月22日付でJ. P. モルガン・バンク・ルクセンブルグ・エス・エイから変更されました。
 (注) 以下の内容は、シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・エクイティの全てのクラスを合算しております。
 (注) 以下の内容は、シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイから入手した財務書類の一部を抜粋・翻訳したものです。

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・エクイティ
2021年12月31日現在の投資有価証券明細表

投資	通貨	株数/額面金額	評価額 (ユーロ)	純資産構成比 (%)
公的取引所への上場承認を受けた譲渡可能証券および短期金融市場証券				
株式				
通信サービス				
Nordic Entertainment Group AB 'B'	SEK	1,000,594	45,710,287	1.54
Tele2 AB 'B'	SEK	3,096,282	39,079,522	1.32
Ubisoft Entertainment SA	EUR	1,124,597	47,964,062	1.63
			132,753,871	4.49
一般消費財				
Ariston Holding NV	EUR	4,107,300	41,730,168	1.41
Cie Financiere Richemont SA	CHF	1,111,680	148,381,440	5.02
Porsche Automobil Holding SE Preference	EUR	1,337,945	111,638,131	3.77
Prosus NV	EUR	450,904	32,090,838	1.08
			333,840,577	11.28
生活必需品				
Beiersdorf AG	EUR	361,931	32,711,324	1.11
Carrefour SA	EUR	3,869,833	61,820,582	2.09
Danone SA	EUR	1,541,081	84,666,990	2.86
			179,198,896	6.06
エネルギー				
Neste OYJ	EUR	2,241,326	97,139,069	3.28
			97,139,069	3.28
金融				
Ageas SA	EUR	1,864,029	84,160,910	2.84
Allfunds Group plc	EUR	2,009,413	34,244,416	1.16
Bank of Ireland Group plc	EUR	14,679,562	75,129,998	2.54
Deutsche Boerse AG	EUR	169,844	24,984,052	0.84
EXOR NV	EUR	312,290	24,614,698	0.83
Sampo OYJ 'A'	EUR	1,268,212	56,156,427	1.90
Societe Generale SA	EUR	4,124,324	125,008,261	4.22
Svenska Handelsbanken AB 'A'	SEK	3,257,420	31,218,138	1.06
			455,516,900	15.39
ヘルスケア				
Alcon, Inc.	CHF	480,566	37,609,217	1.27
Bayer AG	EUR	1,776,341	83,488,027	2.82
Elekta AB 'B'	SEK	3,300,145	36,933,230	1.25
Fresenius SE & Co. KGaA	EUR	1,202,660	42,574,164	1.44
Merck KGaA	EUR	483,383	109,727,940	3.71
QIAGEN NV	EUR	2,024,937	99,201,664	3.35
UCB SA	EUR	834,449	84,237,627	2.85
			493,771,869	16.69
工業				
ANDRITZ AG	EUR	1,467,318	66,586,891	2.25
Azelis Group NV	EUR	1,474,889	37,971,017	1.28
CNH Industrial NV	EUR	6,961,899	120,057,948	4.06
GEA Group AG	EUR	1,715,082	82,478,293	2.79
MTU Aero Engines AG	EUR	367,859	65,993,905	2.23
SKF AB 'B'	SEK	3,196,581	66,774,354	2.26
			439,862,408	14.87

シュローダー・ユーロ株式マザーファンド (ユーロ)

投資	通貨	株数/額面金額	評価額 (ユーロ)	純資産構成比 (%)
情報技術				
ams AG	CHF	2,594,431	41,342,078	1.40
ASM International NV	EUR	243,442	95,989,181	3.24
BE Semiconductor Industries NV	EUR	1,315,099	97,948,573	3.31
SAP SE	EUR	183,090	22,867,941	0.77
Software AG	EUR	1,778,209	62,379,572	2.11
			320,527,345	10.83
素材				
Air Liquide SA	EUR	145,624	22,408,621	0.76
APERAM SA	EUR	1,192,076	57,267,331	1.94
BillerudKorsnas AB	SEK	3,818,862	63,688,226	2.15
Evonik Industries AG	EUR	1,047,646	29,826,482	1.01
Novozymes A/S 'B'	DKK	966,966	70,398,665	2.38
Umicore SA	EUR	1,249,478	44,793,786	1.51
Wacker Chemie AG	EUR	268,327	35,311,833	1.19
			323,694,944	10.94
不動産				
Aroundtown SA	EUR	6,404,134	34,069,993	1.15
			34,069,993	1.15
公益				
Fortum OYJ	EUR	2,555,765	69,184,558	2.33
Verbund AG	EUR	435,633	43,084,104	1.46
			112,268,662	3.79
株式合計			2,922,644,534	98.77
公的取引所への上場承認を受けた譲渡可能証券 および短期金融市場証券の合計			2,922,644,534	98.77
投資総額			2,922,644,534	98.77
現金			30,335,726	1.03
その他資産/(負債)			6,058,119	0.20
純資産総額			2,959,038,379	100.00

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・エクイティ
 2021年12月31日現在の財務諸表注記
 外国為替先渡契約明細表

買い 通貨	買建額	売り 通貨	売建額	満期日	カウンター・ パーティ	未実現評価益/(損) ユーロ	純資産構成比 (%)
シェアクラスごとのヘッジ							
CHF	7,861,012	EUR	7,501,992	31/12/2021	HSBC	87,506	-
CNH	9,336,162	EUR	1,293,759	31/12/2021	HSBC	1,577	-
EUR	35,709	CNH	256,701	31/12/2021	HSBC	93	-
EUR	-	SGD	1	31/12/2021	HSBC	-	-
EUR	12,173,769	USD	13,690,791	31/12/2021	HSBC	62,846	-
GBP	869,524	EUR	1,032,340	31/12/2021	HSBC	4,905	-
PLN	194,562,496	EUR	41,170,795	31/12/2021	HSBC	1,158,959	0.04
SGD	13,018,069	EUR	8,461,488	31/12/2021	HSBC	47,326	-
USD	565,204	EUR	498,981	31/12/2021	HSBC	1,000	-
CNH	8,231,093	EUR	1,132,816	28/01/2022	HSBC	6,250	-
EUR	3,154	CNH	22,756	28/01/2022	HSBC	5	-
CHF	7,626,481	EUR	7,336,501	31/01/2022	HSBC	27,710	-
EUR	31,953,607	USD	36,117,699	31/01/2022	HSBC	22,426	-
GBP	822,574	EUR	966,288	31/01/2022	HSBC	14,337	-
PLN	179,262,786	EUR	38,580,567	31/01/2022	HSBC	330,355	0.01
SEK	329,763	EUR	32,028	31/01/2022	HSBC	150	-
SGD	12,018,157	EUR	7,761,244	31/01/2022	HSBC	87,930	0.01
USD	317,060,544	EUR	279,446,875	31/01/2022	HSBC	862,182	0.03
為替ヘッジ付きシェアクラスの純資産額における 外国為替先渡契約に係る未実現評価益 - 資産						2,715,557	0.09
外国為替先渡契約未実現評価益 - 資産合計						2,715,557	0.09
シェアクラスごとのヘッジ							
CNH	352,443	EUR	49,139	31/12/2021	HSBC	(240)	-
EUR	7,558,480	CHF	7,861,012	31/12/2021	HSBC	(31,021)	-
EUR	1,302,882	CNH	9,431,905	31/12/2021	HSBC	(5,738)	-
EUR	1,022,130	GBP	869,524	31/12/2021	HSBC	(15,114)	-
EUR	42,976,357	PLN	199,470,511	31/12/2021	HSBC	(421,200)	(0.01)
EUR	8,415,693	SGD	13,018,068	31/12/2021	HSBC	(93,120)	-
EUR	287,538,573	USD	325,849,701	31/12/2021	HSBC	(709,203)	(0.03)
PLN	4,908,015	EUR	1,070,192	31/12/2021	HSBC	(2,386)	-
USD	338,975,289	EUR	300,951,462	31/12/2021	HSBC	(1,092,744)	(0.04)
CNH	271,740	EUR	37,652	28/01/2022	HSBC	(47)	-
EUR	17,490	CNH	126,445	28/01/2022	HSBC	(8)	-
EUR	134,830	CHF	140,168	31/01/2022	HSBC	(519)	-
EUR	17,723	GBP	15,137	31/01/2022	HSBC	(323)	-
EUR	895,082	PLN	4,157,787	31/01/2022	HSBC	(7,411)	-
EUR	19,968	SEK	206,107	31/01/2022	HSBC	(144)	-
EUR	139,478	SGD	215,348	31/01/2022	HSBC	(1,168)	-
EUR	609,830	USD	690,702	31/01/2022	HSBC	(811)	-
PLN	2,738,064	EUR	594,490	31/01/2022	HSBC	(163)	-
SEK	10,730,933	EUR	1,047,262	31/01/2022	HSBC	(154)	-
USD	4,549,509	EUR	4,033,883	31/01/2022	HSBC	(11,724)	-
為替ヘッジ付きシェアクラスの純資産額における 外国為替先渡契約に係る未実現評価損 - 負債						(2,393,238)	(0.08)
外国為替先渡契約未実現評価損 - 負債合計						(2,393,238)	(0.08)
外国為替先渡契約未実現評価益 - 資産の純変動						322,319	0.01

2021年12月31日現在の連結費用明細表および純資産変動計算書

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド・ ユーロ・エクイティ** (ユーロ)	
期首純資産価額	2,565,488,564
収益	
配当金収益、源泉徴収後	50,992,474
銀行利息	1,554
合計	50,994,028
費用	
運用報酬	20,727,407
管理報酬	4,268,852
年次税	931,302
保管料	373,665
販売手数料	1,127,003
銀行その他支払利息	235,105
営業費	637,647
合計	28,300,981
投資純利益(損失)	22,693,047
実現純利益/(損失)：	
投資の売却	380,304,962
外国為替先渡契約	15,033,630
スワップ契約	(20)
外国為替	(235,635)
当期実現純利益/(損失)	395,102,937
未実現評価益/(損)の純変動額：	
投資	147,447,665
外国為替先渡契約	4,275,330
外国為替	130,661
当期未実現評価益/(損)の純変動額	151,853,656
運用による純資産の増加/(減少)額	569,649,640
追加金	1,206,056,855
解約金	(1,381,584,976)
資本金の増減による純資産の増加/(減少)額	(175,528,121)
配当金	(571,704)
期末純資産価額	2,959,038,379

** 当該データは評価額を算定可能な直近の日付である2021年12月30日に基づき算出。

「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・リクイディティ クラス I 投資証券」の運用状況

<ファンドの概要>

形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／ユーロ建て	
主な投資対象	ユーロ建ての短期金融資産	
運用の基本方針および主な投資制限	<p>ファンドはアクティブ運用され、主としてユーロ建ての短期金融資産（S&P グローバル・レーティングによる投資適格以上あるいは管理会社の内部格付調査において取得した他社同等格付以上）への投資を通じて、流動性の確保と元本の保全を目指します。これらの証券は、取得時において、当初から又は残存期間が12ヶ月以内であること（付随する金融商品を考慮にされる）、もしくは採用金利が少なくとも市況に応じて年次で調整され残存期間が2年以内であるものを前提とします。</p> <p>※元本の保全と流動性の確保を保証するものではありません。 ※欧州委員会が制定した指令（UCITS指令）に準拠して分散投資を行います。</p> <p>■為替変動リスクおよび金利変動リスクのヘッジのため、デリバティブ取引を活用することがあります。</p> <p>■現金を保有し、金融機関へ預金することがあります。</p>	
投資運用報酬	ありません。	
管理報酬等	ファンドの純資産総額に対して年率0.05%程度（実績値）を管理報酬、保管報酬、弁護士費用、および監査費用等の精算にあてております。この料率は運用・管理状況等によって変動することがあります。	
決算日	12月31日	
設定日	2002年5月22日	
ファンドの関係法人	管理会社	シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイ
	投資運用会社	シュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッド
	保管会社	J. P. モルガン・エスイー、ルクセンブルグ支店

*保管会社は、2022年1月22日付でJ. P. モルガン・バンク・ルクセンブルグ・エス・エイから変更されました。

(注) 以下の内容は、シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・リクイディティの全てのクラスを合算しております。

(注) 以下の内容は、シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイから入手した財務書類の一部を抜粋・翻訳したものです。

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・リクイディティ
2021年12月31日現在の投資有価証券明細表

投資	通貨	株数/額面金額	評価額 (ユーロ)	純資産構成比 (%)
その他の規制市場で取引される譲渡可能証券 および短期金融市場証券				
定期預金証書				
金融				
Credit Agricole Corporate and Investment Bank 0% 17/02/2022	EUR	9,000,000	9,009,117	4.46
Goldman Sachs International Bank 0% 09/11/2022	EUR	9,000,000	9,040,559	4.48
Mizuho Bank Ltd. 0% 04/05/2022	EUR	10,000,000	10,019,465	4.96
National Westminster Bank plc 0% 27/10/2022	EUR	8,000,000	8,034,750	3.98
Natixis SA 0% 09/12/2022	EUR	10,000,000	10,048,829	4.97
Nordea Bank AB 0% 26/05/2022	EUR	10,000,000	10,025,086	4.96
Qatar National Bank QPSC 0% 02/12/2022	EUR	8,000,000	8,038,036	3.98
Standard Chartered Bank 0% 17/01/2022	EUR	8,000,000	8,002,211	3.96
Sumitomo Mitsui Banking Corp. 0% 05/04/2022	EUR	10,000,000	10,017,182	4.96
Swedbank AB 0% 04/03/2022	EUR	10,000,000	10,013,002	4.96
Toronto-Dominion Bank (The) 0% 08/11/2022	EUR	10,000,000	10,048,857	4.97
UBS AG 0% 28/09/2022	EUR	8,000,000	8,031,803	3.98
			110,328,897	54.62
定期預金証書合計			110,328,897	54.62
コマーシャルペーパー				
金融				
BPCE SA 0% 13/06/2022	EUR	10,000,000	10,025,119	4.96
Bpifrance SACA 0% 04/01/2022	EUR	10,000,000	10,000,650	4.95
First Abu Dhabi Bank PJSC 0% 02/12/2022	EUR	10,000,000	10,052,258	4.98
OP Corporate Bank plc 0% 21/01/2022	EUR	8,000,000	8,002,964	3.96
Societe Generale SA 0% 22/04/2022	EUR	10,000,000	10,018,702	4.96
			48,099,693	23.81
コマーシャルペーパー合計			48,099,693	23.81
その他の規制市場で取引される譲渡可能証券 および短期金融市場証券の合計			158,428,590	78.43
投資総額			158,428,590	78.43
定期預金				
金融				
BNP Paribas SA (0.6)% 04/01/2022	EUR	2,208,911	2,208,911	1.09
Credit Agricole CIB (0.6)% 04/01/2022	EUR	2,194,779	2,194,779	1.09
Landesbank Baden Wuerttemberg (0.55)% 04/01/2022	EUR	10,993,006	10,993,006	5.44
Natixis SA (0.58)% 04/01/2022	EUR	13,763,517	13,763,516	6.82
Sumitomo Mitsui Banking Corp. (0.7)% 05/01/2022	EUR	11,983,927	11,983,927	5.93
			41,144,139	20.37
定期預金合計			41,144,139	20.37
現金			2,781,374	1.38
その他資産/(負債)			(350,907)	(0.18)
純資産総額			202,003,196	100.00

2021年12月31日現在の連結費用明細表および純資産変動計算書

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド・ ユーロ・リクイディティ (ユーロ)	
期首純資産価額	196,715,093
収益	
銀行利息	184
合計	184
費用	
運用報酬	318,191
管理報酬	107,281
年次税	18,228
保管料	21,264
銀行その他支払利息	1,085,841
営業費	33,642
合計	1,584,447
投資純利益(損失)	(1,584,263)
実現純利益/(損失)：	
投資の売却	2,123
当期実現純利益/(損失)	2,123
未実現評価益/(損)の純変動額：	
投資	(15,150)
外国為替	(9)
当期未実現評価益/(損)の純変動額	(15,159)
運用による純資産の増加/(減少)額	(1,597,299)
追加金	126,521,079
解約金	(119,635,677)
資本金の増減による純資産の増加/(減少)額	6,885,402
期末純資産価額	202,003,196